

1月の野菜の見通し

平成29年12月21日現在

| 品目 | 区分 | 入荷量(t) | | | 単価(円/kg) | | | 山形県産前年実績 | | コメント |
|--------|----|--------|----------|--------|----------|----------|-------|----------|----------|--|
| | | 前年実績 | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年実績 | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年入荷量(t) | 前年占有率(%) | |
| だいこん | | 13,153 | 70% | 13,131 | 81 | 185% | 81 | - | - | 神奈川県産、千葉県産中心に10月中旬の天候不順、台風21号、22号により播種遅れ、塩害等の被害あり。肥大鈍いところ、低温、乾燥の影響もあり、入荷停滞。生育状況は年明けも変わらず、総体の予想入荷量は前年比70%。全国的に作柄不良で少なく、価格は過去5カ年同月の最高値。全体に小ぶりのため太物の引合い強まる見通し。上旬まで需要は高く上げ気配強まるが、中旬には高止まり。 |
| はくさい | | 13,811 | 70% | 13,496 | 93 | 129% | 63 | - | - | 主力茨城産は10月中旬の天候不順、2つの台風被害のダメージと気温低下により、現状、玉伸び鈍く、入荷停滞。年内に出荷前倒し傾向も強く、1月も出荷ペースは緩慢で、大箱比率は例年よりも高い見通し。総体の予想入荷量は順調だった前年の7割レベル。入荷少ない中、業務の引合いも強く、価格は過去5カ年同月の最高値。出荷前倒しにより上旬は品薄感も強く、上げ気配強まるが、中旬には高止まり。 |
| キャベツ | | 14,792 | 80% | 13,486 | 106 | 127% | 113 | - | - | 愛知産は現状、やや小玉の仕上がりがだがほぼ平年作。神奈川県産も台風被害も軽微。千葉県産は10月の天候不順と台風被害を受け、播種の遅れ、塩害等のため作柄、数量とも不安定。愛知・神奈川県産は入荷前年並みも千葉県産の減少により、総体の予想入荷量も前年比80%。千葉県産は入荷減少の見込みから、総体に不足感は強く、価格は前年、平年を上回る。価格は総体に少ない中、高値安定。 |
| ほうれんそう | | 1,621 | 90% | 1,530 | 458 | 142% | 542 | 2 | 0.1% | 各産地とも10月中旬の天候不順、連続した台風等で作柄不良のところ、現状、寒さ厳しく生育停滞し、12月入荷量は大幅減少。年明けも1月前半まで増量ペースは鈍く、後半から入荷回復の見込み。積雪等の状況がなければ予想入荷量は潤沢だった前年の1割減。月前半まで品薄高は払拭されず、月計の価格は前年、平年より大幅高。月後半から増量にともない下げ足早まる見込み。 |
| ねぎ | | 5,195 | 前年並 | 5,242 | 324 | 93% | 277 | 27 | 0.5% | 秋冬作は各産地とも10月の連続した台風の影響により下等級品の比率が平年より高いが、量的には大幅な減少はなく、予想入荷量は前年並み。価格は前年比安も平年よりも強め。上旬は年末の高値反動から安に下げ気配強まるが下げ幅小さく、出荷本格化するまで保合い推移の見込み。 |

| 品目 | 区分 | 入荷量(t) | | | 単価(円/kg) | | | 山形県産前年実績 | | コメント |
|------|----|--------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|--|
| | | 前年実績 | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年実績 | 前年比見込(%) | 5カ年平均 | 前年入荷量(t) | 前年占有率(%) | |
| きゅうり | | 4,911 | 98% | 4,883 | 394 | 107% | 426 | - | - | 西南産地産は現状、気温低下により実の肥大が遅れており、入荷伸び悩むも、年末に向かって回復基調。関東産は目立った遅れもなく、概ね順調。着果量も確保されており、1月は入荷順調の見込みも潤沢入荷した前年比98%。価格は基調安の前年比高もほぼ平年並み。年末の高値反動もあり1月上中旬は下げながらの推移となるが、下旬は恵方巻き需要もあり下げ止まり。 |
| トマト | | 5,223 | 90% | 5,141 | 424 | 101% | 401 | - | - | 各産地とも秋口の天候不順により樹勢は良好とはいえず、徐々に回復に向かっている。西南暖地産中心に現状、気温低下により、色回りが遅れている。気温上昇とともに数量増を期待したいが、12月下旬以降の収穫段は花飛び、着果不良のため1月中頃まで出荷ペースは緩慢と見込まれる。総体の予想入荷量は順調だった前年の9割レベル。価格はほぼ前年並み。現状、基調高で動いており、増量にともない中旬から下げ足早まる見通し。 |